

例大祭

黄金山神社

神賑

かみにぎわい



神賑

日時 九月九日(土) 午後六時十五分 開会
場所 黄金山神社前広場

午後六時十五分 開会挨拶 総代長 遠藤成美
祝 辞 涌谷町長 大橋信夫様

午後六時三十分 古式獅子舞 舞踊

午後六時五十分 涌谷お茶屋節おどり保存会

午後七時 十分 涌谷太鼓

午後七時三十分 白山豊年踊り

午後七時五十分 祭・WAKUYOSA舞桜

午後八時三十分 福引き抽選会

抽選券は事前に配布致しますが
当日の受付も行っております
詳しくは下記までお問い合わせ下さい

例大祭

日時 九月十五日(金)
場所 黄金山神社



神賑 - かみにぎわい - とは？

神社の祭典において神主が厳粛に神事を奉仕した後に、
神様を喜ばせるべく氏子(地域住民)が様々な演芸を
披露して祭を賑やかに彩る大切な行事です。
黄金山神社では、出店や地域伝統芸能披露等を行っております。



町指定無形民俗文化財 涌谷町古式獅子舞

天文21年(1552年)、涌谷伊達家初代当主亙理元宗公が故郷を離れ、京都へ遊学しに行ったときに、京都の愛宕神社境内で演舞されていた獅子舞を見て、深く感銘を受けました。そして、その愛宕神社を分社し、同時に獅子舞も持ち帰った、と伝えられています。

町内の妙見宮(神明社)に文久2年(1862年)の獅子舞の絵馬が奉納されており、これが最古の記録となっています。文殊菩薩をかたどった稚児が、獅子をあやす姿は「文殊の知恵、百獣の王を制す」ことを表します。見所は、勇ましく舞う獅子と、その獅子を巧みに操る稚児の可愛らしさです。

秋は妙見宮の「宵祭り」に奉納したり、春は涌谷神社の祭礼と合わせた「桜まつり」などで、主に皆様の健康や商売繁盛、子供たちの健やかな成長を願って演舞します。



涌谷太鼓

鼓音(つつみね) 県内30団体が加入する宮城県太鼓連絡協議会の団体が、一堂に会した時に、同じリズムを打つ曲です。今日は、涌谷太鼓だけで打ちます。

清流江合太鼓 天地をゆるがす雷鳴豪雨が大地に降り注ぎ、やがて山麓の一筋の流れが、ササニシキの古里大崎耕土に潤いを与え、我が町涌谷を二分して流れる江合川となり、右に左に曲がりくねりながら、悠々と流れる北上川に合流し、やがて太平洋に至るまでの水の一生を表現しました。源を表す締太鼓の響きから、川の流れの様にパチさばきで表し、北上川との合流を二基の太鼓の二段打ちで表現した曲です。

笈岳白山豊年踊り保存会

涌谷町笈岳にある白山堂は、約1200年前の奈良時代末期、征夷大将軍大伴駿河麻呂が豊受大神をご神体とする加賀の白山妙理菩薩(作新様)を勧進して、お堂を笈岳山の頂上に立てたことに由来している(坂上田村麻呂という説もあり)。お堂のある神楽岡地区には、古くからの神楽があり、明治の初め頃に種時神楽と改められ、正月24日の例祭に白山堂の前で奉納されていた。この例祭には東北各地から種もみの交換のために人々が集まっていたが、時代が移り種撒神楽の伝承が途絶えてしまった。その神楽を惜しみ、昭和45年6月、涌谷町大谷地地区の人達により『笈岳白山豊年踊り』が創られ、保存会が創設された。平成27年6月には、旧笈岳中学校卒業生らを会員に加えて、保存会の若返りをはかった。その際に、団体名を現在の『涌谷町笈岳白山豊年踊り保存会』に改めた。現在では中学生も加え様々な催し物に参加して普及活動に取り組んでいる。



涌谷お茶屋節おどり保存会 伊達の殿様の時代より涌谷の祝い唄

徳川5代目将軍綱吉の命により、仙台藩主伊達綱村は涌谷5代邑主伊達安芸宗元に日光東照宮改修工事を任じた。3年かけて無事に日光東照宮の改修工事を終えた伊達宗元の労をねぎらうために、宗元夫人らが「お茶屋」と呼ばれる風雅な御殿を建築した。

その後「お茶屋」はお花見時に一般の民にも開放され、人々は歌や踊りで夜を明かしたそうである。その時に歌われ踊ったのが「涌谷お茶屋節」と言われている。

300年前の伊達の殿様の時代より涌谷の祝い唄として歌い継がれてきた涌谷お茶屋節、昔は手拍子で唄っていたものを、昭和48年に町内の民謡の大家であった故三神桃谷先生の唄に戸田谷寿先生が振り付けされたのが、現在のお茶屋節の唄と踊りである。平成9年に「涌谷お茶屋節おどり保存会」を発足させ現在に至る。

祭・WAKUYOSA 舞桜

初参加! 涌谷町を拠点に活動している結成丸1年のチームです。黄金色の桜舞う涌谷神社・黄金山神社! 涌谷町ならではの「山の叫び!」で会場の皆様と一緒にお祭りを盛り上げたいと思います。”耳で! 心で! とくにご覧あれ!!”

スーパーボールすくいや食べ物の出店もあります



お子様の健やかな成長を祈る

10月・11月

七五三詣

ご予約承ります

● 涌谷神社 ●

